

記入例 保護者選任のみの場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

収入印紙 円		予納郵便切手 円	
準口頭	関連事件番号	平成 年 (家) 第 号	
☒ 家庭裁判所 御中 平成 年 月 日		申立人の 記名押印	乙山花子 (印)
添付書類 ☒ (同じ書類は1通で足ります。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) ☒ 事件本人の戸籍謄本(全部事項証明書) ☒ 保護者候補者の戸籍謄本(全部事項証明書) ☒ 事件本人の診断書 (医師にこの申立書の2ページ目の「診断欄」に記入してもらっても結構です。) ☐			
申立人	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地 (〇〇〇〇 方)	
フリガナ氏名	フリガナ氏名	大正 昭和 平成 年 月 日生 (〇〇 歳)	職業 会社員
事件本人との関係	※ 事件本人の……	1 直系尊属 (父母・祖父母) 2 直系卑属 (子・孫) ③ 兄弟姉妹 4 市町村長 5 精神科病院の管理者 6 その他 ()	
事件本人	本籍 (国籍)	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇町〇番地	
住所	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地 (〇〇〇〇 方)	
フリガナ氏名	フリガナ氏名	大正 昭和 平成 年 月 日生 (〇〇 歳)	職業 なし
病名	病名	躁うつ病	入院又は治療病院名 〇〇病院

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

平日の日に連絡のつく番号を記入してください (携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

精神障害者本人につき記入してください。

診断欄に記載されている病名を記入してください。

申立ての趣旨				
☐ 保護者の順位の変更及び保護者の選任を求める。				
申立ての理由				
申立ての原因		申立ての動機		
※ ① 法定の保護者 (後見人・保佐人・配偶者・親権を行う者) がいない。 2 法定の保護者はあるが、その者が次の者に当たり保護者となれない。 (1) 行方不明者 (4) 破産者 (2) 事件本人と訴訟をした者並びにその配偶者・直系血族 (5) 成年被後見人・被保佐人 (3) 家庭裁判所で免ぜられた法定代理人、保佐人、補助人 (6) 未成年者 (7) その他		※ 事件本人の ① 治療を受けさせるため 2 入院の同意を与えるため 3 その他 (☆) ☆医療観察法 (★) の手続において保護者の選任等が必要な場合は、[]内に「医療観察のため」と記入してください。		
扶養義務者 (配偶者・親権者を除く。〔保護者として適任と思われる者を○で囲む。〕)				
氏名	住所	年齢	事件本人との関係	職業
① 乙山花子	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地 〇〇〇〇方	37	妹	会社員
2 甲野夏雄	〇〇県〇〇市〇〇町〇番地	30	弟	船員
3 甲野秋夫	〇〇県〇〇市〇〇町〇番地	32	弟	公務員
4				
5				
診断欄	患者氏名	甲野太郎	診断欄	所属病院名
	病名	躁うつ病		〇〇病院
	診断年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	医氏名印	丙川一郎 (印)

(注) 太枠の中だけ記入してください。
 保護者の順位の変更も求める場合は、申立ての趣旨欄の□にチェックしてください。
 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、申立ての原因欄の2の(7)又は申立ての動機欄の3を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。
 診断欄及び診断医欄は医師に記入してもらってきてください。
 ★医療観察法とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことをいいます。

診断医に直接記入及び押印してもらってください。
 ただし、別に診断書を添付する場合には記入不要です。

1又は2に該当しないときはここに簡単に記入してください。

該当する人を二人以上記入してください。